

(3) ユニバーサルツーリズムについて

Q

観光庁によると、「ユニバーサルツーリズムとは、高齢や障害等の有無にかかわらず、すべての人が安心して楽しめる旅行を指します。」行政民間問わず、全国的に様々な取組みがなされています。ユニバーサルツーリズムについての市の見解について教えていただければと思います。

経済農政局
からの回答

高齢者や障害の有無に関わらず、誰もが安心して市内観光を楽しめるよう観光施策を進めることは、需要喚起の面でも重要です。本市では、バリアフリーマスタープランのもと、公共施設に加え、宿泊・集客施設や交通機関を含む民間事業者と連携し、バリアフリー化を推進しています。これらの取組はユニバーサルツーリズムの推進にもつながり、あわせて多言語対応などインバウンドへの対応も求められています。今後もオリパラ開催時の経験を活かし、意識改革も含め、ユニバーサルツーリズムのあり方を検討していきます。



わたなべ
からの
意見・要望

伊勢では20年以上にわたり、バリアフリーツアーセンターが地元団体と連携し、地図の提供や参拝支援などを実施。三重県も「日本一のバリアフリー観光県」を掲げ、ガイドブックを発行しています。兵庫・長野・大阪市なども同様に力を入れています。千葉県は情報はまだ不十分で、千葉市の対応が期待されます。**千葉市が障害者や高齢者が滞在しやすい街になれば、介助者や家族も一緒に滞在することが考えられ、旅の拠点となれば長期間の滞在も期待できます。まずは市内宿泊施設のバリアフリー対応状況の調査と情報提供など、できることから始めるよう提案します。**

わたなべただひろの活動報告

令和7年 年賀名刺交換会

1月6日、千葉市・千葉商工会議所さん主催の年賀名刺交換会へ伺いました。今年も、市内で事業や活動に取り組まれている方々とお会いでき、お話を伺えありがたかったです。



松ヶ丘中学校地区地域運営委員会の「新年受賞祝賀の会」



1月19日、松ヶ丘中学校地区地域運営委員会の「新年受賞祝賀の会」に伺いました。受賞者の皆様おめでとうございます！毎年地域の方々が準備されている会で、市長からの祝福の挨拶もありました。

千葉市消防出初式



1月11日、今年も消防車両・消防艇の行進、消防ヘリ、消防隊・救急隊・消防団の実演を見学。実演は消防隊が男女ともに重い装備品を素早くつける場面、消防車両・ヘリを使った救助活動、全てに圧倒されます。消防局、消防団の日々の活動に感謝。そして消防車両はお子様に大人気！

「千葉市二十歳のつどい」(午前の部)

二十歳の皆様、おめでとうございます！コロナ禍に学生生活を送った世代も未来に希望が持てる社会にしたいと改めて思いました。双子のお二人(お一人が車椅子使用)の二十歳の決意は、それぞれの素直な想いを話してくださり、心に残りました。



千葉市動物公園・動物科学館の内覧会

3月19日、千葉市動物公園内で3/29にリニューアルオープンする動物科学館の内覧会へ。熱帯雨林をテーマに、構造や役割、破壊の歴史、共存方法を考える展示を見つ、実際の動物を観察できます。木を丸ごと再現したレプリカ、「土の視点」でみる映像等で楽しく学べます！是非行ってみてください！



わたなべただひろ 令和7年第1回定例会一般質問動画【字幕付き】

こちらのQRコードから本レポートに概要を掲載した令和7年2月25日の定例会での一般質問の動画をご覧頂けます。



議会報告会開催のお知らせ

令和7年5月24日(土)午前10時30分から議会報告会を蘇我コミュニティセンター集会室(定員20名程度)で開催します。市民の皆さまのご参加をお待ちしております！



わたなべただひろプロフィール

- 1987年3月生まれ(現在36歳)
- 筋ジストロフィー・デュシェンヌ型
- 10歳から歩行困難で、14歳から電動車椅子使用
- 幼小中高を習志野市・千葉市の普通校で過ごす
- 2002～2005年 千葉県立幕張総合高校
- 2005年 早稲田大学社会科学部入学
- 2009年4月～2011年9月 早稲田大学大学院・政治学研究科修士課程修了
- 2012～13年 日本福祉教育専門学校で社会福祉士取得
- NPO法人ユニバーサル・アクセス・デザインズの設立
- 2014年7月 アクセシビリティデザイン訪問介護事業所設立
- 2023年4月 千葉市議会議員選挙に日本維新の会公認で初当選

議会報告レポート 2025年(令和7年)4月号

日本維新の会

中央区

今も未来も、**千葉市へ！**
暮らしやすい

千葉市議会議員

わたなべただひろ

発行者 渡邊 惟大

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号
千葉市議会 日本維新の会ちば 控室

TEL 080-4668-1168

E-mail watanabe.tadahiro.chiba@gmail.com

※市政に対するご意見をお寄せください



ご挨拶

いつも応援ありがとうございます。

2月に令和7年第1回定例会が開催されました。令和7年度予算審議、一般質問を実施しました。

令和7年度予算については、物価高騰等の影響や新病院・新清掃工場整備などでの大変厳しい財政状況の中、妊婦の方向けの支援給付金拡充や待機児童ゼロ継続などの子育て支援、中央区末広町への東部児童相談所・養護教育センター・こども発達相談室・発達障害者支援センターの複合施設整備開始、市立学校の体育館への冷暖房整備や第2次不登校対策パッケージなどの教育環境整備、土砂災害ハザードマップ配布や下水道耐震化など防災減災対策、既存バス路線の維持のためバス運転手の確保に要する費用助成や駅のバリアフリー化などの交通政策、千葉中央コミュニティセンター再整備、下水道ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の維持管理、企業立地促進施策継続などに取り組む予算編成となっております。

今後も、医療福祉、災害対策、施設老朽化など財政需要は増加しますので、財政健全化が維持されるよう会派として求めました。

引き続き、市民の皆さまに貢献できるよう、政策提案を継続致します。

千葉市長選について

3月16日の千葉市長選挙で神谷俊一市長が再選されました。

これまで議会での提案を反映されてきたと実感しており、幕張ビーチ花火フェスタでの砂浜車椅子席設置など私の提案も市政に取り入れられてきました。私も精査の上で市長提出議案にほとんど賛成する一方で、特別職給与増額に反対するなど、是々非々の立場を貫いてきました。

今後も市長に大いに期待すると共に、議会で積極的に提案していきます。そして、市長が今後も市民の負託に応えているか厳しく見守ります。



神谷市長と会派室にて

令和7年第1回定例会 わたなべただひろ

日本維新の会ちば

一般質問の概要ご報告



① 特別自治市について

Q

千葉市が自らの財源を活用してどの施策を実施するのか決めることができれば、更なる発展につながると信じております。特別自治市制度に対する千葉市の見解についてお聞かせください。

総合政策局
からの回答

指定都市市長会における取組みや機運醸成などを通じて、特別自治市の法制化に向けた議論を加速させ、自治体が地域の実情に応じて、多様な大都市制度を選択できるよう、まずは制度の実現を目指して取り組みます。

▶▶▶ 中面に続きます

わたなべただひろは**市民相談**を**随時受付中！**

☎080-4668-1168

✉watanabe.tadahiro.chiba@gmail.com

右QRコードのわたなべただひろ公式HPの
お問い合わせフォームからも可能です



② 障害者の社会参加について

Q	障害のある児童生徒の通学時における保護者等の付添い状況に関する調査が実施されたと聞いております。結果と今後の対応についてお示ください。	
教育委員会／保健福祉局からの回答	小学校では、通常学級で37校81人、特別支援学級で92校347人、中学校では通常学級で10校16人、特別支援学級で24校39人。小中学校を合わせた人数は483人です。当該調査の結果を分析し、通学支援について研究を進めていきます。	
わたなべからの意見・要望	調査ありがとうございます。負担になっていないか、把握に努めて、支援を検討していただければと思います。また、他市においては学校内での付き添い状況についても調査しているところもあると聞いております。 学校内において1日付き添っているような状況があれば、かなりの負担になっていると思います。今後、その辺りの調査も検討していただけるよう要望いたします。	

Q	現状の千葉市役所と教育委員会の障害者雇用率についてお答えください。結果と今後の対応についてお示ください。どのような取組みをされてきたか、お聞かせください。
総務局／教育委員会からの回答	昨年6月1日時点で、市長部局は法定雇用率2.8%を上回る2.97%を達成。教育委員会は未達成でしたが、12月1日時点で基準を満たしました。令和元年度以降、障害者採用試験の対象を身体・精神・知的障害へ拡大し、令和4年度には受験年齢上限を45歳に引き上げました。さらに令和6年度からは、障害者3人と調整員1人で構成される「フロアサポートスタッフ」が庁舎内で事務補助を行う体制を導入。教育委員会も学校での雇用支援を継続し、定着支援を強化しています。
わたなべからの意見・要望	ありがとうございます。 教育委員会においては以前未達成であったことから注視しておりましたが、達成したとのことで、評価いたします。

Q	重度の障害がある方が就労する場合に、通勤の支援や職場での身体介護などの支援を実施する重度障害者等就業支援特別事業についてです。障害者総合支援法における障害福祉サービスは、通勤、営業活動等の経済活動に係る外出について利用できないので、この事業はそこをカバーすることができます。昨年保健消防委員会で伺った際は、利用者は2名と聞きました。現時点での実績と課題、今後の取組みについて教えてください。
保健福祉局からの回答	1月末現在、2人が当事業を利用し、ヘルパーの支援を受けながら就労しています。業務支援は企業が、喀痰吸引などの生活支援は市が負担する仕組みのため、両者を区分する必要性があり、制度が煩雑になっています。さらに、長時間対応できる事業者の確保も課題です。今後は丁寧な周知とともに、制度の簡素化を国に求めています。
わたなべからの意見・要望	ありがとうございます。2名の方のサポートが続いており、安心しました。ご尽力ありがとうございます。ただ、増えておらず、課題があることがわかりました。 障害福祉サービスが就労時に利用できるようになることが一番の解決策であると思いますが、国レベルの話になりますので、それが実現するまでは、市においてはこの事業の周知と継続に取り組んでいただければと思います。 私も障害福祉サービス事業を運営しておりますが、ニーズに答えきれていない状況です。事業所が取組みにくいことは承知しており、申し上げにくいのですが、引き続き、努力をお願いいたします。

③ バリアフリー化の状況について

(1) 地区別バリアフリー基本構想の進捗状況について

Q	地区別バリアフリー基本構想の進捗についてお示ください。
都市局からの回答	千葉市は、バリアフリーマスタープランで定めた22地区のうち、整備効果が高い7駅周辺地区を優先し、地区別バリアフリー基本構想の策定を進めています。令和4年に稲毛地区、昨年3月に千葉都心地区で策定し、令和6年度からは蘇我、都賀、鎌取地区の策定を開始、令和7年度中の完了を目指しています。昨年は、推進協議会で議論を行い、11月には障害者団体とまち歩きワークショップを実施。令和7年度は、その結果をもとに、交通事業者などと具体的な施策を検討していく予定です。

(2) 中央コミュニティセンター再整備におけるバリアフリー化の状況について

Q	中央コミュニティセンター再整備におけるユニバーサルデザインについて伺います。	
財政局からの回答	主要出入口には音声案内や誘導ブロックを設け、出入口の幅も車椅子がすれ違える広さに改善します。地下1階～地上4階の各階にバリアフリースイッチを設置し、コミュニティセンターと事務所それぞれにおむつ替えスペースと授乳室も整備します。来館者用駐車場は地下2階に90台分を確保し、うち4台は身体障害者等用とし、車椅子乗降場も設置します。今後も誰もが安全・快適に利用できる施設づくりに努めていきます。	
わたなべからの意見・要望	車椅子で単独や介助者1人でも乗降しやすい駐車場を設置してもらいたく、車椅子で乗降させやすい駐車スペースをお願いいたします。 多目的更衣室で腰掛けのままシャワーを浴びることができるようにしてほしい、トイレの個室にL字型の手すりを設置してもらいたい、小さな子供は上から浴びるシャワーを嫌がることもあるため、配慮してほしいといった声があります。多額の資金も投じられていますので、多くの方々にとって使いやすい施設になること期待しております。	

④ 幕張ビーチ花火フェスタについて

Q	令和5年第2回定例会において、砂浜にも車椅子席を設けることを提案させていただきましたが、昨年8月の幕張ビーチ花火フェスタにおいて、砂浜の車椅子席が100席販売されました。私もチケットを購入し見に行きました。マットが敷かれ、若い方から高齢者まで多くの車椅子使用者の方々がご家族や友人と楽しまれている様子でした。砂浜車椅子席100席設置の反響について改めて伺います。	
経済農政局からの回答	昨年から本格運用した砂浜の車椅子席は、付き添いを含め1枚5,500円で100席を販売し完売。利用者アンケートでは、観覧席の設置に「ほぼ満足」、全員が「来年度も砂浜での観覧を希望」と回答し、概ね好評でした。一方で、スペースの狭さや足元の安全、一般観覧者との区分など課題も判明。令和7年度の大会では、安全で快適な観覧環境の整備に向け、会場設営事業者と協議を進めていきます。	
わたなべからの意見・要望	ありがとうございます。 車椅子で砂浜から花火が見られる体験は、世界的にも珍しいと思います。いただいた貴重な意見をもとに継続と、より良くなるよう取組みをお願いいたします。	

⑤ 千葉市の魅力向上について

(1) ライドシェアについて

Q	日本版ライドシェア「自家用車活用事業」がこの4月から始まりました。日本版型ライドシェアでは、タクシー会社の管理のもと、一般ドライバーが自家用車を利用して有料で乗客を送迎する制度です。利用者は原則、スマートフォンのタクシー配車アプリで配車依頼することになっております。一部地域が対象で千葉市もエリアに入っておりますが、ライドシェアの現状と市の見解について教えてください。
都市局からの回答	昨年6月から千葉市と四街道市でライドシェアの運行が始まり、現在9者が運行中です。深夜帯に加え、昨夏からは雨天や猛暑時にも運行し、今年1月第3週までに48人の登録ドライバーが計2,296回運行しました。1台あたりの稼働率は一般のタクシーと同程度で、タクシー事業者からも「一定の利用がある」「雨天時に需要が増える」との声があり、地域の移動手段不足の解消に一定の効果が見られます。

(2) 公園での官民連携の取組について

Q	全国的にパークPFIなど公園運営における官民一体の取組みが進んでおります。昨年大阪市の難波宮跡公園について視察し、官民一体の取組みの可能性を理解しました。千葉市でも取組みが進んでおり、千葉公園ではパークPFIが導入されました。本市の取組みと事例について教えてください。例として、稲毛海浜公園や千葉公園での取組み状況について伺います。
都市局からの回答	稲毛海浜公園のリニューアル事業や稲毛海浜公園では、グランピング施設やプールの改修、飲食提供に加え、「誰でもビーチ!」や音楽イベントなど海辺を活用した取組みが展開されています。千葉公園では、カフェやパンプトラック、アート体験施設などが整備され、芝生広場ではイベントも行われ、多くの来園者に親しまれています。

